

2025年4月21日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニー株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 矢尾板 裕介  
(コード番号: 2743 東証スタンダード)  
問 い 合 わ せ 管 理 本 部 長 柳 世 和 大  
<https://pixel-cz.co.jp/contact>

## 福島県大熊町データセンターにおける GPU 構成の見直しについて

### ～次世代 GPU 「NVIDIA B200」搭載サーバーへの切替で、AI 対応性能を大幅に向上～

当社子会社であるピクセルハイ合同会社が福島県双葉郡大熊町にて進めております「大熊町コンテナデータセンター（以下「本データセンター」）」において、このたび、当初導入を予定しておりました GPU 「NVIDIA H100」搭載サーバーから、最新世代となる GPU 「NVIDIA B200」搭載サーバーへの構成変更について切替える方針となりましたので、お知らせいたします。

本変更は、生成 AI 分野の急速な技術革新と市場のニーズに応えるものであり、より高性能かつ効率的な GPU クラスタの構築を可能とするものです。なお、当該方針については経済産業省とも事前に協議を行っており、現時点で補助事業としての進行に差し支えない旨の確認を得ております。

#### ■GPU 「NVIDIA B200」搭載サーバーへの変更による主なメリット

##### 処理能力の向上

NVIDIA B200 は、前世代 H100 に比べ、メモリ帯域や AI 推論性能が大幅に強化されており、大規模な生成 AI ワークロードにも対応可能です。

##### 消費電力あたりの性能最適化

電力効率に優れ、GPU サーバーあたりのパフォーマンスを最大化することができるため、当社のコンテナ型データセンターにも適した GPU 構成となります。

##### 商用提供時の競争力強化

国内外の生成 AI ベンダーからの GPU 「NVIDIA B200」搭載 GPU サーバーに対する関心が高まっており、今後の顧客獲得において有利に働くものと見込まれます。

当社グループでは、現在 GPU 「NVIDIA B200」搭載サーバーへの構成変更に向けた調達および設計変更について、主要取引先各社と協議を進めております。これにより、本データセンターが持つ競争力および提供価値をより一層強化し、国内外の生成 AI ニーズに対応するインフラ基盤として成長を加速してまいります。

なお、GPU 「NVIDIA B200」搭載サーバーへの構成変更に向け主要取引先各社と 2024 年 11 月 26 日付「(経過開示) 固定資産の取得（データセンター施設の GPU サーバー及び付帯設備売買契約締結）に関するお知らせ」にて公表の取得価額にて調整を進めております。これにより、現時点において本構成変更が 2025 年 12 月期の当社業績に与える影響はありません。

以上